

わくわく橘っ子

橘小学校

人権教育便り

NO. 9

令和6年10月



～「阿南市人権教育・啓発市民講座」から学ぼう～

第4回 講師 元中学校社会科教員 富田 真由美さん

演題 「共に生きていこう！－外国人の人権問題について－」

日時 令和6年10月22日(火)

【参加して下さった人権教育部の方の感想です。】

朝鮮人差別問題は、日本の植民地支配や戦後の複雑な歴史的背景が深く根付いていて、解決が難しい課題だと思いました。近年では、法的地位や社会的な待遇は改善されつつあるものの、ヘイトスピーチや偏見が残っているのも現実です。解決に向けては、まず、歴史的事実を正しく理解し、学校教育やメディアを通じて、多文化共生の大切さを広めること、多様性を尊重することが重要だと感じました。

～パラアスリート 岡部 裕子さんから学ぼう～

10月22日(火)、パラアスリートの岡部裕子さんをお迎えしました。4・5・6年生が、「身体障がい者への理解を深めよう」という目的で、車いすでのテニス体験をしたり、岡部さんのお話を聞いたりしました。児童の感想を紹介します。



・小学1年生で歩けなくなったと聞いて、びっくりしました。「小さい頃、車いすの人は大変でかわいそう。」など、悲しい言葉を言われて、すごく大変だったんだ、でも、そんなことを乗り越えて、今はテニスで頑張っているんだ。」と思いました。
(4年 児童)

・テニスをしてみて、車いすを動かすことがすごく難しいし、ラケットでボールを打つことはもっと難しかったです。どれだけ練習して、パラリンピックに出たんだろうと思いました。岡部さんは明るい顔でボールを『ポン』と打つお手本を見せてくれました。岡部さんは 強い心をもっているんだと思いました。
(4年 児童)

・「自分を知る」「チャンスをつかむ準備をする」ということを、教えてくれました。これからぼくも夢を探します。
(5年 児童)

・私も夢があります。あきらめそうになったら、今日岡部さんに教えてもらったことを思い出します。
(5年 児童)

・人からの偏見をなくすために努力される岡部さんの姿を見習いたいです。全ての人々が協力し、助け合いながら生活する大切さを学びました。
(6年 児童)

